

稲穂、
秋空に舞う。

晴天が続いた9月下旬、村内各地では稲刈りに精を出す皆さんの姿がありました。台風に負けず実った稲穂。刈り取った稲は近所総出で「はせ掛け」を行います。投げ上げられた稲はきれいに並べられ、夕日に照らされて黄金色に輝いていました。(9月28日、明戸地区で撮影)

復興へのご支援に
心から感謝します

三陸鉄道は今

平成23年3月11日
 三陸鉄道は寸断された
 津波は線路も橋脚も破壊し
 島越駅を跡形もなく奪い去った
 そして今も三陸鉄道は寸断されたまま

私たちの願いはただ一つ。全線復旧・運行再開



大津波で橋脚が破壊され線路も寸断された（3月13日、島越駅周辺）

3月11日に発生した東日本大震災。沿岸部を襲った大津波は、防波堤を乗り越え、漁船をのみ込み、住宅をなぎ倒し、尊い命までも奪い去っていきました。この津波で、海沿いを走る三陸鉄道も大きな被害を受けます。北リアス線の島越では駅舎や橋脚が破壊され、線路も寸断。野田でも線路が流されるなど、甚大な被害となりました。地震発生時に走行中だった車両や乗客は無事でした。しかし、南リアス線大船渡の車両基地に格納していた3両が浸水して使用不能になってしまいました。震災直後から三鉄職員は「走

れるところは走らせよう」と、線路の点検や運行方法の検討などを重ねます。そして、津波から5日後の16日、久慈―陸中野田間の運行を再開。さらに20日には宮古―田老間、29日からは田老―小本間も再開しました。7カ月が過ぎた今――。三鉄の運行再開区間は全線の3分の1。本村の線路上にも、本来あるべき三鉄車両の姿はありません。野田―小本間は、県北バスの代替バス運行で、宮古や久慈への通院や通学の足は何とか確保できました。しかし、途中で乗り換えが必要だったり、三鉄に

比べて時間がかかったりとな不便なこともあります。代替バスの利用者からは「日曜日や祝日に利用できない」「全ての三鉄に接続してほしい」などの声も聞かれますが、現在の状況では難しい状態です。そんな中、三鉄の全線復旧に向けた動きは始まっています。三鉄は現在、来年4月の久慈―田野畑間の運行再開を目指し、陸中野田―野田玉川の復旧工事に取り組んでいます。北リアス線、南リアス線の全線復旧は平成26年春の予定。地震や津波にも負けない三鉄を目指し、準備が進められています。

田野畑駅の信号はあの日以来、赤信号のまま。1日でも早く青信号のともる日が訪れることを願う



三陸鉄道株式会社
北リアス線運行本部

金野淳 一本部長（この・じゅんいち）

私が線路の状況を見たのは3月14日。言葉になりませんでした。今まで、あって当たり前のもが無くなり、自分の手足をもぎ取られたような気持ちでした。

しかし、驚いたり感傷にひたっている暇はありません。「走れるところは走らせよう」と、線路の点検、停電で信号機も使えない状態でどうやって走らせるかなどの相談…。とにかく1日でも早く走らせたいと、朝から晩まで必死でした。

16日の朝には久慈―陸中野田間を再開することができました。その後は宮古―田老間を検討。踏切も使えない状態なので、職員がロープで遮断して対応。20日正午に再開することができました。

今は、来年春の久慈―田野畑間の部分開通に向け全力で取り組んでいます。三陸鉄道は地域のために走っている鉄道です。地域が元気になるように精いっぱいのことをやります。田野畑村の皆さんも、大いに三鉄を利用していただき、三鉄を応援してください。

地域のためにある鉄道
 1日でも早く走らせる
 ただそれだけ thought

三鉄メモ

三陸鉄道は、北リアス線（宮古―久慈間）と南リアス線（盛―釜石間）の2路線からなります。本村を走るのは北リアス線。宮古―久慈間71キロを約1時間半で結びます。トンネルや鉄橋が多く、トンネルは全部で43カ所、約39キロを占めています。駅は本村の2駅を含む15駅です。なじみが深い白、赤、青の3色の車両。白は「誠実」、赤は「情熱」、青は「三陸の海」をイメージしています。

三鉄レールウォーキング参加者が枕木に書き込んだ応援メッセージ



枕木や敷石に思い思いの三鉄応援メッセージを書き込んだ

「つなげよう！三陸鉄道」と書かれたのぼり旗を先頭に線路を北へ向い出発しました。
スタートしてすぐの羅賀トンネル。1・3キロのトンネル内は真っ暗のため、電灯で足元を照らしながら慎重に進みました。明戸地区では、枕木に三鉄応援メッセージを記入。「がんばれ」「みんなの夢を乗せて走れ」など、それぞれの思いを込めてペンを走らせました。
全長4・7キロの普代トンネル入口では、トンネルの奥に向かって参加者が「線路はつな

ぎたい」と叫びました。約2時間半のウォーキング終了後は、サンマのすり身汁に舌鼓を打ち、三鉄グッズのオークションも行いました。行き先を示す方向幕や津波で被災した線路などが次々と落札され、目当ての品を落札した参加者は満足げな表情を見せていました。
動き出した復旧の歩み
マイレール三鉄を再び

三陸鉄道の線路は、今も寸断されたまま。しかし、来年春には久慈―田野畑間が復旧する予定です。1日でも早い全線復旧、運行再開に向けて動き出しています。レールは途切れていても私たちの心はきつとつながっているはず。
皆さんは昭和59年4月1日を覚えていますか？三陸鉄道が開業し、田野畑村に初めて鉄道が通ったあの日。あのときの感動はきつと、皆さんの心の中に刻まれていることでしょう。
マイレール三鉄――。

1日でも早い全線復旧、運行再開を願いましょ。つなごうレール、つなごう心

子どもたちは「がんばれ三鉄、まけるな三鉄」と声をそろえ、1日でも早い復旧を願った



村は10月16日、三陸鉄道の早期復旧を願い、被災を免れた線路を歩くイベント「三鉄レールウォーキング」を開催しました。村内はもとより県内外から31人が参加。遠くは埼玉県や石川県からの参加者もいました。
コースは田野畑駅から普代トンネル入口までの往復約7キロ。田野畑駅の出発式で上机荒治村長から激励を受けた参加者は、

頑張れ、負けるな三鉄
復旧願いのウォーキング



三鉄への愛を叫ぶ参加者



メッセージを書いた枕木と敷石



「つなげよう！三陸鉄道」ののぼり旗を先頭に田野畑駅を出発

三鉄レールウォーキング参加者にインタビュー

さわがしらちかこ
澤頭知香子さん(29) 八戸市

会社の同僚3人で参加しました。線路を歩けるなんて面白い企画ですね。景色もきれいで楽しく歩け、貴重な体験ができました。三鉄には乗ったことがないですが、復旧したら絶対乗りに来ます。

写真左から澤頭さん、鴨澤友子さん(53)、山下由美子さん(40)



けんいち
村上健一さん(39) 奥州市

線路を歩いたり、枕木にメッセージを書いたり、とても貴重な体験ができてうれしい反面、三鉄が走っていないことを思うと複雑な気持ちです。開通したら、また家族で訪れます。1日でも早い復興を！

写真左から千秋ちゃん(8)、佑夏ちゃん(4)、健一さん



まなぶ
小西学さん(36) 三沢市

9月には普代村の三鉄イベントにも参加しました。今日のオークションでは、欲しかったレールを落札することができてうれしいです。三鉄の車窓が大好きなので、1日でも早く全線が復旧してほしいです。復旧したら、大好きな車窓を眺めながらゆっくり観光します。

私たちは 3月11日を忘れない
伝えたい 伝えなければならない

私の津波体験 ⑦



松島にぶつかった津波を見た後、工藤さんらが駆け上った避難場所へ向かう階段。(写真左は三鉄の第一島越トンネル)

船や物が飛んで迫ってくるような恐怖だった

勤務先の漁協で立ち話をしているとき、携帯電話の緊急地震速報が鳴り響いた。みんなで顔を見合わせた瞬間、ものすごい揺れに襲われた。「これは絶対、警報が出るな」という話しはしたが、あんな津波が襲ってくることは、その時は夢にも思わなかった。

「警報が出れば、水門が閉まる。車を移動させなければ」という軽い考えで、車を家に走らせた。ガスとブレーカーを落とし、その後は三鉄線路で海を眺めていた。津波がどんなものか見たいという程度の考えだった。

そこには、自分を含めて7〜8人がいたと思う。その中の1人と「もし逃げるんだったら、あそこ(三鉄線路脇の避難場所)だよな」という冗談交じりの会話をした。そのうち、湾内の水が川の流れみたいに引いていったかと思うと、



島越 工藤 輝さん (40)

すごい勢いで湾の中に入った。どんどん水かさが増え、市場が浸水すると、積んであった青いタンクがガタガタと音を立てて倒れた。その時点で「ああ、この程度か」と思っていた。

そのとき、ドーンというものすごい音とともに、松島が隠れるくらい波しぶきが上がった。身の危険を感じ、冗談で話していた避難場所に向かい走り出した。とにかく怖くて必死で逃げた。波というよりも、船や物が飛んで迫ってくるような感じ。ほんの一瞬、数秒の出来事だったと思う。

何とか避難場所のさらに上の松林まで登ると、島越はまるで大きな池のような状態だった。しばらくその場にいると、山の上の方から、けがをしてTシャツ1枚の近所のひとが下ってきた。彼は、自宅ごと津波にのまれたが、

奇跡的にコイコロベ周辺に流れ着き、落石防護ネットをよじ登って逃げてきたと話していた。

手作りの担架でいこを救急車に搬送し、病院まで付き添った。病院で見たテレビ映像で、太平洋沿岸の惨状を初めて知った。

同じ場所で見えていた人も犠牲になってしまった。もしあの時、一言でも声を掛けていれば、たとえ冗談でも言葉一つでどうにかできたんじゃないか、今でも後悔している。

これまでの生活で、困っている人を助けるとか、親切にすることを心のどこかで恥ずかしいと思う自分がいた。全国からの支援を受け、そんな自分が恥ずかしいと思いついた。今、自分が変わるべき。「困っている人がいたら助ける」という当たり前のことを当たり前にできる人間になりたい。

仮設団地集会所に

給湯・暖房設備を設置

仮設住宅の高校と中学校校団地集会所に、給湯・暖房設備が設置されました。これは、アイシン精機(株)(本社・愛知県)から、大震災復旧復興支援活動として無償設置いただいたものです。

10月21日に中学校校団地集会所前



アイシン精機の田内常務役員(左)から上机村長に目録が手渡された

で行われた引き渡し式。アイシン精機の田内比登志常務役員は「不便な生活を余儀なくされている人を、1人でも多く支援したい」と思い提供した」とあいさつ。田内常務役員から上机莞治村長に目録が手渡されました。

両仮設団地を代表して、高校団地の畠山忠男代表は「これまで比較的雪が少なく、過ごしやすい沿岸で生活してきた。これから内陸部で寒さ厳しい冬を迎える。この設備を大いに活用し、心寄り添ってみんなで乗り越えていきたい」と感謝を話しました。

設置された設備は「ガスコージャエネレーションユニット」。プロパンガスを利用して電気を発電し、その発電熱を温水加熱に利用するもので、給湯装置と温水加熱式パネルヒーターなどが設置されました。集会所全体の電力と給湯をこの設備が賄います。使用するガス料金も、アイシン精機に負担いただけることになりました。

復興ソフトボール大会

3時間の熱戦に

汗・笑顔・歓声

がんばれ田野畑!復興3時間耐久ソフトボール大会(村体育協会主催)が10月16日、村営野球場で開催されました。村内各地区から集まった120人が、「赤・がんばろう田野畑」と「白・復興!たのはた」の2チームに分かれて対戦。好プレーや悪戦苦闘する姿一つ一つに声援が飛び、笑いの絶えない和やかな大会になりました。

試合序盤は、白チームが先行するゲーム展開。赤チームが両点に追いつくと、中盤からは両チーム譲らない接戦。最終回に大量点をあげた赤チームが3時間わたる熱戦を制しました。

試合後は、参加者全員で焼き肉を囲み懇親。「震災後、地区を越えて集うイベントがなかったので楽しかった」などと感想を話しながら、親睦を深めました。



■試合結果

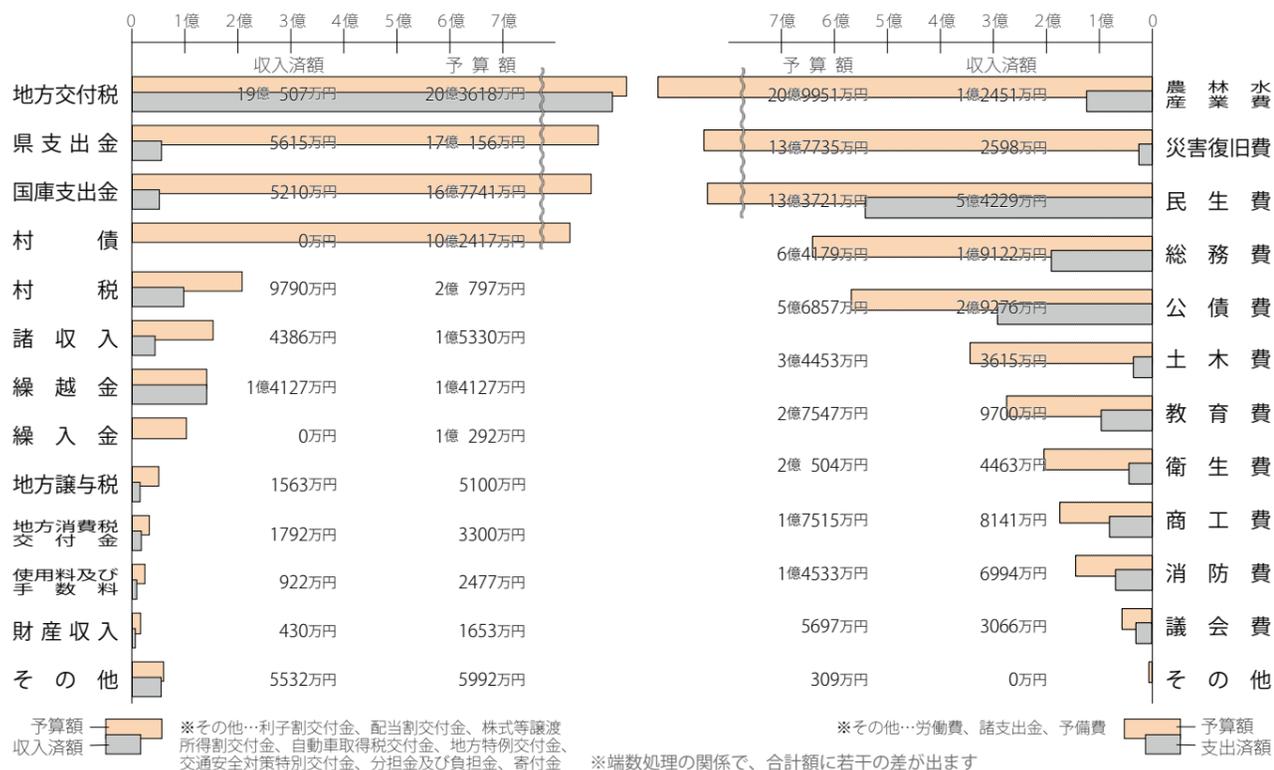
チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	計
赤	2	2	0	0	4	0	0	5	0	4	0	1	1	0	2	1	7	29
白	2	6	1	2	0	0	1	4	0	1	0	1	1	0	0	4	0	23

秋空の下、好プレー珍プレーが続出。約120人が心地よい汗を流した

財政状況

上半期の財政状況

歳入 収入済額 23億9875万円 (収入率 33.2%) 一般会計 予算額 72億2999万円 支出済額 15億3653万円 (支出率 21.3%) 歳出



村は、皆さんに納めていただいた村税や国・県からの補助金などを財源にして、さまざまな事業を実施しています。平成23年度上半期（平成23年4月1日～9月30日）の村予算の執行状況や基金、村債の現在高などについてお知らせします。詳しい内容は総務課（☎34-2111 内線12）に問い合わせてください。

23年度上半期の一般会計予算額は、総額39億4299万円を補正し、72億2999万円となりました。前年同期に比べ37億5343万円（108.0%）の増額となっています。また、予算に対する収支の割合は、収入が23億9875万円（33.2%）、支出が15億3653万円（21.3%）となっています。

補正予算の主な内容は、道路や漁港、防災行政無線などの災害復旧（13億7445万円）、共同利用漁船復旧支援や廃棄物処理など震災関連（23億4891万円）など、3月11日に発生した東日本大震災の復旧関

連となっています。その他、村道菅窪和野線改良舗装（4500万円）、旧小学校解体（3414万円）などを追加しました。

特別会計予算の状況

区分	事業勘定	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険会計	事業勘定	5億4278万円	2億4874万円	2億3705万円
	直診勘定	1億4854万円	3848万円	6616万円
簡易水道会計		1億4523万円	2760万円	2793万円
集落排水会計		1億965万円	71万円	3335万円
下水道会計		3259万円	77万円	1419万円
介護保険会計	事業勘定	4億9589万円	1億4408万円	1億8625万円
	サービス勘定	365万円	32万円	25万円
後期高齢者医療会計		2945万円	672万円	520万円
合計		15億778万円	4億6741万円	5億7037万円

村有財産の状況

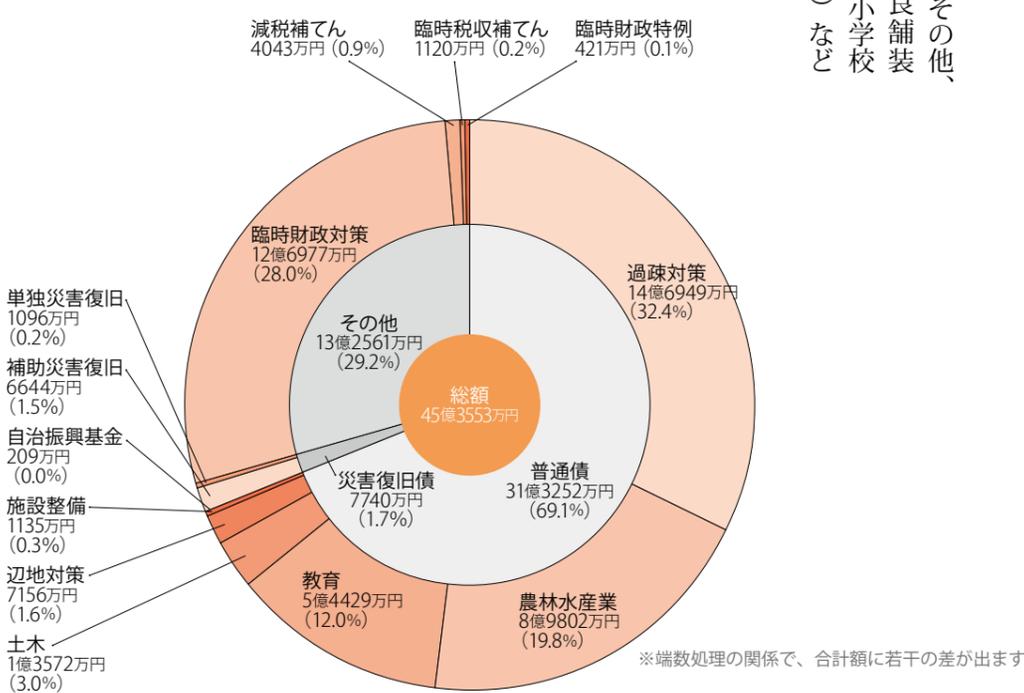
▼土地・建物・有価証券など

種別	増減	合計	
行政財産	建物	549㎡	33,435㎡
	土地	0	2,942,030㎡
普通財産	建物	-185㎡	28,198㎡
	土地	0	7,904,287㎡
合計	建物	364㎡	61,633㎡
	土地	0	10,846,317㎡
有価証券・その他	0	4億4518万円	

▼基金

種別	増減	合計
財政調整基金	0	12億2214万円
収入証紙購入基金	0	100万円
村民研修基金	0	2462万円
ふるさと基金	0	671万円
村債管理基金	0	3億544万円
福祉基金	0	1億2894万円
土地開発基金	0	2572万円
福祉医療資金貸付基金	0	200万円
花笑みの村基金	0	1316万円
庁舎及び公共施設整備資金	0	1億4667万円
田野畑むらづくり基金	187万円	1589万円
育英の森造成基金	0	182万円

村債現在高の状況（平成23年9月30日現在）



村債残高45億3553万円（村民1人当たり116万8,047円）のうち36億7112万円は交付税算入が見込まれるため、実質残高は8億6441万円（同22万2,600円）となります



6年生と一緒に「ダルマさんが転んだ」を楽しむ千葉さん(右から2番目)

努力の大切さ千葉さんに学ぶ

元マラソンオリンピック選手の千葉真子さんが9月28日、スポーツこころのプロジェクト「笑顔の教室」で田野畑小を訪れました。5、6年生と一緒に体を動かしたり、自らの体験を紹介したりしながら、夢を持つことや努力することの大切さを訴えました。千葉さんは「好きなことや得意なことは宝物。簡単にチャレンジをあきらめないで」と講話。工藤鈴斗君(6年)は「夢を持ち、何事もあきらめなければ夢に近づけると学んだ」と目を輝かせていました。

賢治の童話題材の演劇楽しむ

東京を拠点に活動する演劇集団「キャラクターボックス」が10月8日、アズビィホールで無料公演を行いました。宮澤賢治の童話「セロ弾きのゴーシュ」「銀河鉄道の夜」をアレンジした作品「賢治島探検記」を上演。訪れた約200人は、スピーディーな展開や役者の迫真の演技に引き込まれ、あっという間の1時間半を過ごしました。劇中歌「風の転校生」では、役者と会場が一体となって大合唱。本物の演劇に触れ、会場は大きな拍手に包まれていました。



バケツやごみ箱をたたきながら劇中歌「風の転校生」を合唱

辞職坂歩き道の大切さ再確認

辞職坂ウォーキング(体験村・たのはたネットワーク主催)が10月2日に開催され、村内や山田町、盛岡市などから参加した19人が、辞職坂を歩いて道路の大切さを再確認しました。道の駅たのはたを出発した一行は晴天の中、思惟大橋を渡り辞職坂へ。足元に注意しながら約2時間かけて坂道を下り、川を渡り、急斜面を登りました。山田町から友人5人で参加した女性は「昨年も参加した。やっぱり景色がきれい。来年も来たい」と心地よい汗をかいていました。



遠くに思惟大橋を臨みながら、慎重に辞職坂を下る参加者たち

日本各地の踊りや歌にふれる

劇団わらび座特別講演「輝け君の命」が10月3日、田野畑小で開催され、全校児童174人や地域住民20人が、日本各地に伝わる踊りや歌などを楽しみました。北海道でニシンの大漁を願って歌われる「ソーラン節」では、会場全体で「ハー、ドッコイショ、ドッコイショ」と掛け声。「輝け君の命」の合唱では、全員が手話にも挑戦しました。約1時間8曲の熱演に、工藤丈斗君(4年、写真⑤)は「太鼓にも挑戦できたし、演奏もとても楽しかった」と話していました。



山形県の「花がさ踊り」では、児童2人も太鼓に挑戦した



女子生徒も説明を受けながら真剣な表情でタイヤローラーを操作

重機触れ建設業へ理解深める

建設業ふれあい事業(紐岩手県建設業協会青年部連絡協議会岩泉支部、横田雅明青年部長)が9月26日、田野畑中で開催され、3年生33人がバックホーなどの重機操作を体験しました。畠山啓君は「将来の職業はまだ決めていないが、建設業にも興味があるので楽しみにしていた」と真剣な表情。横田青年部長は「数年後、同じ現場で仕事をすることがあるかもしれません。建設業に興味を持ってもらうきっかけになればうれしいです」と笑顔を見せていました。

田高生が道路20キロ清掃活動

岩泉高校田野畑校(夏井敬雄校長、生徒13人)は10月14日、猿山から尾肝要までの約20キロを清掃しながら踏破する「20km全校清掃ウォークラリー」を実施しました。全校生徒と保護者、教職員など21人は秋晴れの中、「がんばろう田野畑」ののぼり旗を掲げてごみ拾い。約7時間かけて拾ったごみは10袋にもなりました。下田果怜さん(3年)は「ビールの空き缶が多くてびっくり。疲れたけど、友達と話しながら拾えて楽しかった」と額の汗を拭っていました。



「がんばろう田野畑」ののぼり旗を掲げ尾肝要地区を目指す一行

お知らせ

人口と世帯		火災	
10月1日現在()は前月比		(9月21日～10月20日)	
人口	3,883人(-3)	火災の【今月】	0件
男	1,907人(-2)	発生件数【今年】	1件
女	1,976人(-1)	無火災の連続記録	
世帯	1,440世帯(±0)	(10月20日現在)	173日

火葬費用の精算忘れずに

県は、大震災による被災者などの火葬費用で、遺族が負担した費用の精算を行っています。

- ◆精算対象…沿岸市町村で死亡、または被災し、3月11日から5月10日までにいった火葬
- ◆対象経費…ひつぎ、骨箱、火葬場使用料など（葬儀費は対象外）
- ◆申請期限…11月30日(水)
- ◆受付時間…土日祝日を除く、午前9時～午後5時
- ◆問い合わせ先…県庁県民くらしの安全課(☎019-629-6876)

災害援護資金を貸し付けます

大震災で世帯主が負傷した世帯や住居、家財、自家用車に被害を受けた世帯に対し、生活の立て直しに必要な資金の貸し付けを行っています。

- ◆対象世帯…①震災日に村内に住民登録していて、被災した世帯②村民税における世帯の総所得額が規定額未満の世帯
- ◆貸付限度額…被災の状況により150万円～350万円
- ◆金利
 - ・保証人有り…無利子
 - ・保証人無し…年1.5%（据置期間中は無利子）
- ◆償還期間…13年（据置6年）
- ◆償還方法…年賦または半年賦
- ◆提出書類…借入申込書（役場で配布）、保証人の源泉徴収票（保証人有りの場合）、医師の診断書（世帯主が負傷した場合）
- ◆申込期限…平成30年3月31日
- ◆申し込み・問い合わせ先…復興対策室(☎34-2111 内線69)

「村の未来を語る会」を開催

村交流観光プラットフォーム（道合勇一会長）では、「田野畑村の未来を語る会」を開催します。早稲田大学生が中心となって夏から撮影取材した映像を通し、村の未来を語り合い後世に思いをつなげていきましょう。

- ◆日時…11月19日(土) 午後2時～5時
- ◆場所…宝福寺
- ◆定員…50人(参加無料)
- ◆申込期限…11月11日(金)
- ◆問い合わせ先…村交流観光プラットフォーム事務局（体験村・たのはた ☎37-1211）

指名手配被疑者摘発に協力を

指名手配被疑者の発見には、皆さんの協力が欠かせません。「よく似ている人を見つけた」など、どんなにわずかな情報でも構いません。警察や駐在所に通報をお願いします。

- ◆通報先 岩泉警察署(☎31-0110)、田野畑駐在所(☎33-3110)

人間ドックに助成金を交付

- ◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人。（全ての医療機関での受診が対象です）
- ◆助成額…課税状況により1万～2万円（3年に1回の助成）
- ◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請
- ◆開始日…8月1日(月)以降の受診分から
- ◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

地デジ難視聴地区を訪問

地理的な条件などにより個別受信アンテナで地上デジタル放送を受信できない地域に住んでいる人には、下記のような国の支援があります。難視聴地区に指定されている家庭には、国から委託を受けた業者が訪問して申請を受け付けますので、忘れずに申し込んでください。難視聴地区の確認は政策推進課にお問い合わせください。

- ◆暫定的な衛星放送利用 暫定的に衛星放送を利用して地デジ放送を視聴。BSチューナーの貸し出しやBSアンテナの設置工事を無償で行います（業者：地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター）
- ◆高性能アンテナ対策 受信点の調査や高性能等受信アンテナ対策に要した経費の一部に対して助成します（業者：岩手県地上デジタル放送推進協議会）
- ◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

地デジチューナーを無償給付

- ◆対象
 - ①村民税非課税世帯
 - ②NHK受信料全額免除世帯
- ◆支援内容
 - ①チューナーの無償給付
 - ②チューナーの無償給付、申し出によりチューナーの設置・操作説明や必要によりアンテナなどの改修
- ◆申込期限…平成24年3月31日
- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

子ども手当支給額が変わります

これまで、子ども手当の支給額は、中学生以下の子ども1人当たり1カ月13,000円でした。次回、平成24年2月と6月に支給する子ども手当は、次のとおり変更になります。

- ◆対象・金額
 - ①3歳未満…月額15,000円
 - ②3歳～小学生以下
 - 第1・2子：月額10,000円
 - 第3子以降：月額15,000円
 - ③中学生…月額10,000円
- ◆支給月
 - ①平成24年2月（10月～平成24年1月の4カ月分）
 - ②平成24年6月（平成24年2月～3月の2カ月分）
- ◆申請…新たな認定請求が必要です。現在、村から子ども手当を受給している人には、11月中旬に請求用紙を送付します。忘れずに申請してください
- ◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線23)

自衛隊高等工科生徒を募集

陸上自衛隊では、高等工科学校生徒を募集します。

- ◆待遇…生徒手当：94,900円、期末手当：年2回、卒業時高卒資格取得
- ◆申請期限 推薦…12月16日(金) 一般…平成24年1月6日(金)
- ◆受験資格…17歳未満で中卒（見込み者含む）の男子
- ◆試験日…平成24年1月14日(土)
- ◆場所…宮古市民総合体育館
- ◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

農委選の立候補届出説明会開催

11月27日(日)執行の農業委員会委員選挙の「立候補届出説明会」を開催します。

- ◆日時…11月14日(月)午前10時～
- ◆場所…議員控室
- ◆問い合わせ先…選挙管理委員会(☎34-2111 内線91,92)

火災予防を心掛けましょう

11月9日から15日まで「消したはず 決めつけしないで もう一度」をスローガンに、秋の全国火災予防運動を展開します。風が強くなり空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続く季節。寒くなり暖房器具を使う機会も多くなります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

- ◆火災予防三つの習慣
 - ①寝たばこは絶対にやめる
 - ②ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する
 - ③ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す
- ◆火災予防四つの対策
 - ①逃げ遅れを防ぐため住宅用火災警報器を設置する
 - ②寝具や衣類からの火災を防ぐため防災製品を使用する
 - ③火災を小さいうちに消すため消火器などを設置する
 - ④高齢者や体の不自由な人を守るため隣近所の協力体制をつくる
- ◆住宅用火災警報器の設置を 6月1日から設置が義務付けられました。設置した人は届け出をしてください。電話での届け出も受け付けています。
- ◆届け出・問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

1人で悩まず相談を

寄り添いホットラインは、「一人にしない」「社会から切り離さない」ことを目指して、電話相談を受け付けます。生活や暮らしに関する相談、つらい気持ちを聞いてほしいなど、どんな悩みでも相談してください。

- ◆受付時間…毎週木・土曜日 午前10時～午後10時

フリーダイヤル つなぐ ききえる
0120-279-338

土地取引情報の提供を

円滑な復興のため、土地の高値を見込んだ買い占めなど、不当な土地取引を防止しましょう。

- ◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

11月9日は「119番の日」

11月9日は「119番の日」。119番通報の際は、「火事ですか？救急ですか？」と問い掛けます。通報者の名前と電話番号の他、次のような質問をしますので、落ち着いて答えてください。

- ◆火災の場合
 - 住所（近くの目標物など）
 - 何が燃えているのか
 - 逃げ遅れはないか
- ◆救急の場合
 - 住所（近くの目標物など）
 - 誰がどうしたのか
- ◆事故の場合
 - 住所（近くの目標物など）
 - どういう事故か
 - けが人や閉じ込められている人はいるか
- ◆問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)



10月12日、役場窓口に「マツタケ盆栽」(提供: たのはた松茸盆栽愛好会)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1666万7,449円 (10月20日現在)

338件 (村内83件、県内111件、県外144件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課 (☎34-2111 内線15) までご連絡ください。

村の復興を共に担おう

村職員採用試験を実施

平成24年度採用予定の「田野畑村職員」の採用試験を実施します。受験を希望する人は忘れずに申し込んでください。

- ◆職種：一般事務職(若干名) 土木技術職(若干名)
- ◆受験資格
 - 一般事務職・土木技術職 共通：昭和52年4月2日以降に生まれた人(性別は問いません)
 - 土木技術職：高校以上の土木系学科・学部を卒業した人(平成24年3月31日現在)

- ◆1次試験：12月4日(日) 午前9時30分受け付け・10時試験開始。場所は田野畑村役場
- ◆2次試験：平成24年1月下旬。場所は田野畑村役場。面接試験などを行う予定です。
- ◆申し込み・問い合わせ先：田野畑村役場総務課(〒028-1840 田野畑村 田野畑143-1 ☎34-2111 内線11)

- ◆日までに卒業見込みの人を含む)、または土木系業務の実務経験5年以上で、土木施工管理技士、管理技術者、技術士いずれかの資格を有する人
- ◆受付期間：11月10日(木)～18日(金の午前8時30分～午後5時(ただし土日を除く))
- ◆受験手続き：申込み用紙を提出してください。用紙は役場総務課で配布します。郵送での請求は、あて先を明記した返信用封筒(A4サイズ、120円切手を貼付)を同封のうえ、封筒の表面に「試験案内請求」と朱書きして送ってください。郵便請求は11月7日(月)到着分まで受け付けます

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課(11月21日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 三鉄レールウォーキングの参加者が枕木に書いたのは?

- A) 応援メッセージ
- B) 落書き

Q2 復興ソフトボール大会で勝ったのはどのチーム?

- A) 復興! たのはた
- B) がんばろう田野畑

Q3 10月8日のキャラメルボックス無料公演。誰の童話をアレンジした作品を上演?

- A) 宮澤賢治
- B) 吉村昭

■前号(10月号)の正解 Q1→B、Q2→B、Q3→A

■当選者(敬称略) 熊谷正初(猿山)、中村志会之助(埼玉県)

役立ちカレンダー

期間：11月4日(金)～12月4日(日)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
11月4日(金)	第38回村民文化展(6日まで)	アズビイ楽習センター	9:00～12:00	教育委員会
	診療所休診			診療所
5日(土)	診療所休診			診療所
9日(水)	秋季全国火災予防運動(15日まで)			消防田野畑分署(☎34-2100)
11日(金)	生活相談会	高校仮設団地集会所	13:00～15:00	復興対策室(内線69)
14日(月)	胃・大腸がん検診(18日まで)	村内各地区	6:30～8:30	保健福祉課
	村農業委員会委員選挙立候補届出説明会	議員控室	10:00～	選挙管理委員会(内線91・92)
16日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
19日(土)	田野畑村の未来を語る会	宝福寺	14:00～17:00	体験村・たのはた(☎37-1211)
20日(日)	村復興祈念祭	アズビイ周辺	9:00～14:00	復興対策室(内線67)
25日(金)	生活相談会	中学校仮設団地集会所	13:00～15:00	復興対策室(内線69)
27日(日)	村農業委員会委員選挙投票日	村内各投票所	7:00～18:00	選挙管理委員会(内線91・92)
28日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
30日(水)	村民税3期・国保税5期納期限 後期高齢者医療保険料5期・介護保険料6期納期限			税務課(内線31・32) 生活環境課(内線21・22)
12月4日(日)	第42回歳末たすけあい演芸会	アズビイホール	10:00～12:00	村社会福祉協議会(☎33-3025)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 保健福祉課☎33-3102

東日本大震災で亡くなった人の相続放棄手続きは

皆さんは、人が亡くなると財産や債務が自動的に相続されることを知っていますか?

相続は手続きをしたときではなく、人が亡くなったときに自動的に発生します。何の手続きもしなければ、不動産や預貯金などの「財産」の他、借金や滞納料金などの「債務」も相続されます。

これを防ぐ方法の一つに「相続放棄」という家庭裁判所での手続きがあります。財産よりも債務が多い場合、相続放棄手続きをすることを弁護士は勧めています。

東日本大震災で亡くなった人の相続放棄手続きは、11月30日(木)が期限(例外あり)。期限間際の手続きの場合、書類不備などで期限内に受理されないことも予想されます。まずは早めに、下記の問い合わせ先に相談してください。

- ◆必要な書類
 - ① 申述書(裁判所や裁判所ホームページで入手できます)
 - ② 亡くなった人の住民票除票

11月30日まで

まずは早めに、弁護士へ相談を

- ③ 亡くなった人と手続きをする人との関係が分かる戸籍謄本
- ④ 手続きをする人の省略のない住民票
- ※その他の書類が必要になる場合もあります

◆用意する物

- ① 収入印紙800円1枚(郵便局で購入できます)
- ② 配偶者や子どもが手続きをする場合・80円切手2枚、親やきょうだいの手続きをする場合・80円切手6枚

◆問い合わせ先

- ・保健福祉課 (☎33-3102)
- ・盛岡家庭裁判所宮古支部 (☎0193-62-2925)
- ・岩手弁護士会 (☎0120-755-745)
- ・はまなす法律事務所 (☎0193-71-1477)
- ・宮古ひまわり基金法律事務所 (☎0193-71-1217)
- ・法テラス宮古法律事務所 (☎050-3383-0518)

はまなす号巡回カレンダー

期間：11月24日(木)～25日(金)

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
11月24日(木)	北山地区総合センター	10:40～10:55
	グループホームつくえ付近	11:05～11:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
11月24日(木)	佐藤進氏宅付近	9:30～9:45
	望洋館	9:55～10:10

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
11月25日(金)	産直プラザ尾肝要	10:00～10:15
	山栄会リアス倶楽部付近	10:25～10:45
	甲地公民館	10:55～11:10

◆問い合わせ先…教育委員会 (☎34-2226)

はまなす 掲示板

おめでた おくやみ

[平成23年9月届け出分] (敬称略)

■ご冥福をお祈りいたします
下坂 嘉一郎(90) 羅賀 長久保 喜昭(56) 机

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に出してください

川畑 ^{さな}紗南ちゃん（1歳5カ月）
父・勝也さん、母・史さん＝羅賀＝

お母さんからのひとこと

ボール遊びが大好き。元気いっぱい、そして好奇心旺盛で、いつもお姉ちゃんのまねをしています。笑顔を忘れず、思いやりのある子に育ててほしいです。



わが家の
アイドル



藤島 ^{こうた}昊大くん（1歳4カ月）
父・淳一さん、母・真理さん＝沼袋＝

お母さんからのひとこと

お兄ちゃんの背中に乗ったり、まねをしたりして遊んでいます。3人兄弟の中で一番おとなしく、おっとりした子です。思いやりのある子に育ててね。



編集ごぼれ話

紙面には紹介できませんでしたが10月6、7日、田野畑中2年生が職場体験学習を行いました。広報も4人が体験、他事業所で職業体験する同級生を取材してもらいました。初めて触れる一眼レフカメラで撮影したり、照れながらインタビューしたりと、一生懸命な姿がとても印象的でした。数年後、そんな君たちと、一緒に仕事をできる日がくればいいな：▼急に寒くなってきましたね。空気も乾燥し、インフルエンザなどの流行が心配です。今年は、村診療所での予防接種は、なんと無料！皆さんのお手元に広報が届くころには、予防接種も始まっています。お早めにごぞぞ▼「辞職坂ウオーキング」「三鉄レールウオーキング」と10月は「歩く」イベントの取材。どちらのイベントも天気に恵まれ、参加者の皆さんは心地よい汗を流していました。三鉄レールウオーキングでの私は、皆さんのスピードに追いつけず、「写真撮影できない」と冷や汗、冷や汗…。

（政策推進課 佐々木和也）